サキュバス

オスの精を吸収する魔族。
オスを強制的に発情させるフェロモンを
常に放っており
多くの人型の種族のオスにとって天敵となる。
定期的に精を摂取しないと
死にはしないが非常に調子が悪くなってしまう。
自分より低俗な種族ならば
他人の神経を意のままに操ることができ、
単純な腕力もヒトの数十倍はある恐ろしい種族。
倫理観が低い個体が多く
自分が満足するためにオスから精を絞りつくして
殺してしまうことも厭わない。
そのため多くの種族から恐れられているが
同時にサキュバスとのセックスは
この世で最も気持ちのいいものの一つとされ
強制発情搾精セックスに憧れる者も多い。
環境適応力が高くあらゆる惑星や環境でも
生きていくことができる。

ヴィィィン
呼ばれたから
来てみたら
ヒトオス
じゃ〜ん
――っ!?
本当に
召喚してしまったのか……

召喚陣なんて
全く信じてなかったけど
召喚して
しまったのか……？
ごくっ
本当に
サキュバスを……
ズイッ
それで
私に何か用？
用があるから
呼んだのでしょう？
えっ？

言えないなら——
私が当ててあげようか？
そうだけど……
その……えっと……
エッチしたくて呼んだのでしょ？
……はい
淫魔を呼ぶ理由なんてそれしかないよね
……そ、それでしてくれるのか？

嫌よ
そうだよな
嫌だよな——
えっ!?
ニコ
当然でしょ
どうして私があなたと
エッチしないと
いけないの？
だって
サキュバスって……
確かに私は淫魔で
エッチは大好きだけど
わざわざ童貞のあなたと
したいとは思わないわ
……
……そうですねはい
あなただってビュッフェで
美味しくなさそうな物は
わざわざ取らないでしょ
まぁでもぉ
せっかくこの世界に
呼んでくれたし
条件次第で
してあげてもいいかも
条件!?

私の奴隷に
なりなさい
……ど、奴隷？
下僕
ペット
眷属
サーヴァント
呼び方はなんでもいいわ
私の所有物になれば
可愛がってあげる
どうかしら？

ふふ……
よく似合ってるわよ
やっぱりヒトオスに
服はもったいないわ
あ……あぁ…
全裸で跪くのが
お似合い

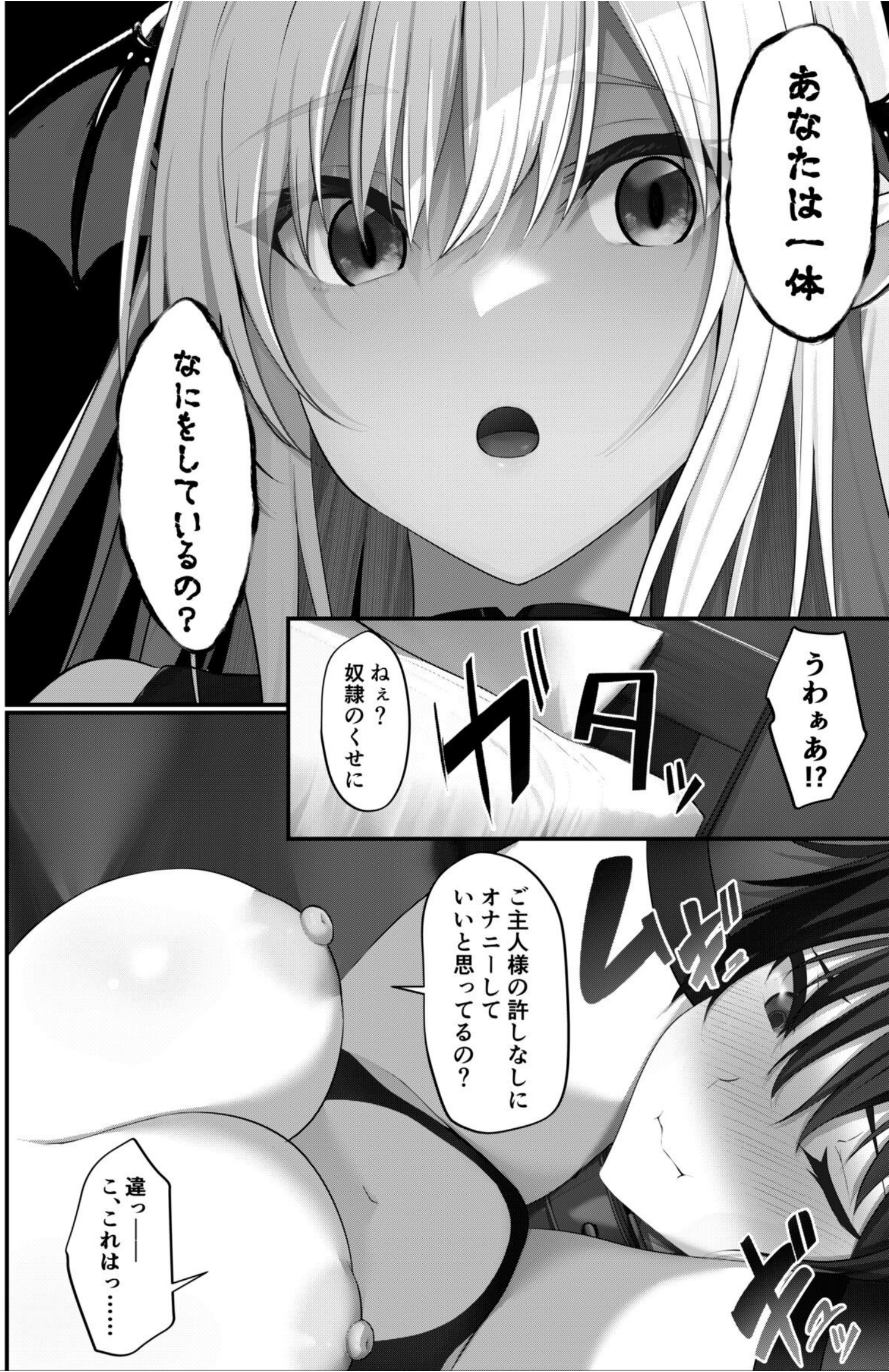
はぁ
カチャ
私からの
プレゼントも
ほら
奴隷の仕事を
しなさい
はぁ
ビンッ
ビンッ
ビンッ
とっても
気に入ってくれた
みたいね
何をするかは
わかるでしょ
ふふ
そうよ
ご主人様を
喜ばせるのが
ゾクッ
あなたの唯一の
生きる意味よ

これから
死ぬまで毎日する
ことなんだから
しっかり私の気持ちいい
ところを学びなさい
わかった？
……はい

ねぇもう少し
柔らかく舐めなさい
……こうですか？
あんっ
そうっ……それっ
ズク
ズク
ズク
ナデ
ナデ
いい子ね
その調子っ
もっと私を
満足させなさい

言われずとも一生懸命愛液舐めとっちゃって
やっぱりヒトオスは奴隷気質なのね
あぁ、そういえば言い忘れていたけど
淫魔の体液はオスにとって強烈な媚薬なの
催淫性も中毒性も強いからあまり取り込みすぎると頭が馬鹿になっちゃうかも

ってもう
聞こえてもないか
射精したい
はぁ
股間が疼く
ご主人様に
クンニ奉仕しながら
はぁ
精液を
吐き出したい
はぁ
はぁ
クンニしながら
オナニーするの——
はぁ
気持ちいい
あぁ
ダメだ！
はぁ
精液が
せり上がって
くる！
射精るっ！
うっ


あなたは一体
なにをしているの？
うわぁあ!?
ガタッ
ねぇ？
奴隷のくせに
ご主人様の許しなしに
オナニーして
いいと思ってるの？
違っ――
こ、これはっ……

私への奉仕中に
勝手に気持ちよくなろうとするなんて
ビクッ
ビクッ
ビクッ
許せない

自分の立場がわかってないようだし
お仕置きが必要ね
お仕置き!?

馬鹿なチンポはいくらイってもあげたわ
射精できなくしてあげたわ
射精できない……？
ど、どういうこと？
今から無茶苦茶に犯してあげるから
すぐ意味が理解できるわ

待って
今入れたらっ
知らないわ
イきたければ
イきなさい
なんだこれ
中で絡みついてっ
あぁっ
出ちゃう
射(で)精るっ！

ぐぅっ
ビクッ
ビクッ
イったはずなのに――
射精できない!?
かはっ
言ったでしょ射精はできないって
だから好きなだけイきなさい
一滴たりとも精液は出させないけど
あぁあなんだこれぇあっ！
チュ
チュ
チュ

オスでは味わえない連続絶頂
うぐっ
気持ちいいけど苦しいでしょう
ぐぁあっ
これは罰よ
あなたが心の底から私に服従しない限り
ぐぅううっ
永遠にイかせてあげるっ!!
あっがぁあああうっ

ごめんなさいっ
もう二度と勝手にオナニーしませんからぁっ
射精させてくださいっ
ビクッビクッ
本当かしら？
本当です！一生ご主人様の言うこと聞きます！
ふ～ん
ヒクヒク…
それじゃあ
がぁあああっ
今すぐ貯めてた精液全部出しなさい！

ぐうぅうっ
ビッ
ふふっ
射で精るっ！
ビクッ!!
すごーい勢い
ビュル
ビュル
あぁあああああっ！

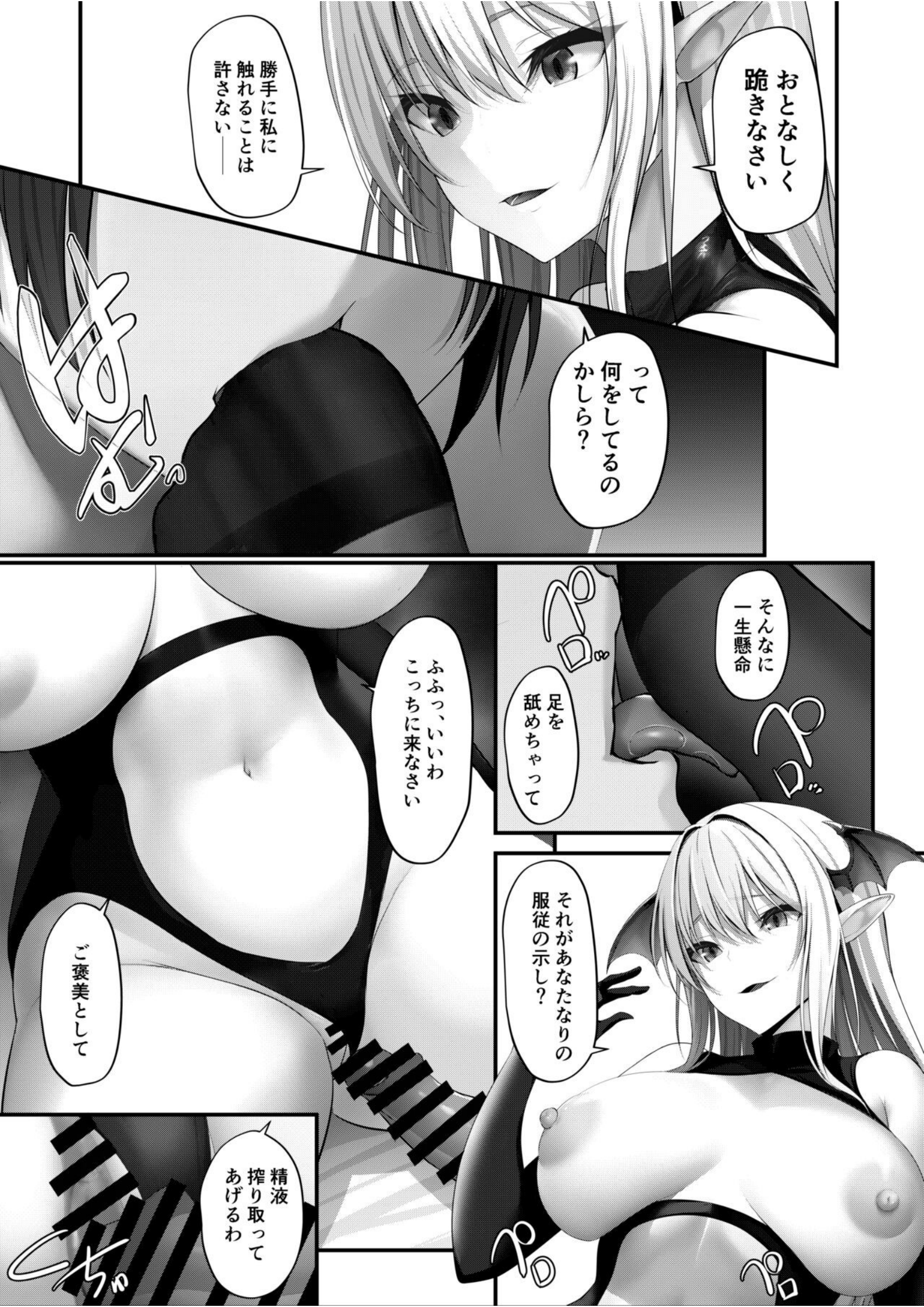
はぁはぁ
全部だせっ
あがぁあ！
もっと出せるでしょ
ぐぅう
絞りとられるぅっ
睾丸の中からも
あぁああっ
一滴残らず
絞りだしなさい
ダメぇえ
死んじゃう——

ちょっと
萎えてるんだけど
なに休んでるの？
早く勃起させなさい
今全部……
出したばかり
少し休まないと
もうたたない……
はぁ
仕方ないわね
――ッ!?
キス!?
――違うっ
これはただの
キスじゃなくて――
唾液を
飲まされてるっ！

んっ
強制的に勃起させられてるんだ！
淫魔の体液は媚薬って
んんっ
すっかり元気になったようね
脳みそとろける
はぁ
はぁ

はぁ
なんだこれ
はぁ
今までに経験したことがないくらい
はぁ
股間が疼くっ！
耐えられないくらいムズムズするっ
あぁ、もう一度あの中で
はぁ
はぁ
気持ちよくなりたいっ
もう一度
待て
—っ!?

おすわり
――っ!?
ドン
私に許可なく
勝手に盛って何をする気？
あぁ……


おとなしく跪きなさい
勝手に私に触れることは許さない――
って何をしてるのかしら？
はむっ
そんなに一生懸命
足を舐めちゃって
ふふっ、いいわこっちに来なさい
それがあなたなりの服従の示し？
ご褒美として
精液搾り取ってあげるわ
ぺろ
ぺろ
ぺろ

がぁああ
ビュルル
勝手に射精がっ
ぐぅっ……止まらないっ
言ったでしょ
搾り取るって
今度は一切射精を
我慢できないように
してあげたわ
あぁああ
あああっ！
ビュルル
なんだ
これぇえええっ

ほらっ
腰を
振るたびに
射精する
感覚はどう！
ぐぅうっ
腰が勝手に
動いてっ
射精が
止まらないっ
ズリッ
ズリッ
ヒュルル
ヒュルル

ちょっと
また勢いが
なくなってる！
だって
ずっと射精なんて
できないよ……っ
ビュル
ズチュ
ズチュ
プシュッ

だったらもっと
精液作りなさいっ
ズッ
んんんっ!?
また
強制的に
精液作らされてるっ
ドピュ
ドピュ
心臓がっ
苦しいっ
ドクン
ドクン
でも唾液接種キス
気持ちいい
しゅき
ゆび

がっちり足で
ロックされながらの
ベロキス強制射精
んんんっ
ヒュルルッ
ビクッ
気持ち良すぎて
ぷーはぁっ
まだまだ
始まったばかり
なんだから
はぁ
頭おかしくなる
はぁ
はぁ
ビクッ
ビュルッ

もっと
獣のように
腰を振りなさい！
あなたに
知性はもう
必要ないんだからっ
はぁ……はぁ
たりない！
まだ
このくらいじゃ
ぐうっ――

もっともっと
精液を私に――
捧げなさい！
ほらっ
ぐぅうう
早くっ
射精しろ！
ビュルルル
あぁあああっ

あぁ……
お願いします
パンッ
少しだけ
休ま……せて
ダメよ
私が満足するまで
絶対に休ませない
あぁ……がっ
胸が苦っしい
そんなぁっ

これがサキュバスの奴隷になるということよ
もうあなたは私専用の精液サーバーなんだからっ
うぅ…あぁ……死んじゃう……
ふふっそんなに死にそうなら
私に抱かれながら死んじゃえば？
あなたの精液も命も私がぜーんぶもらってあげるから
だからほらすべて私に
捧げなさい

ぐっ――
あぁあああぐうあああっ！
ドピュ

――っ！
あがぁっ！
逃げるなっ
あぁあぁあぁあっ
ちゃんと中で出しなさいっ
ぜーんぶ
最後の一滴まで絞りだしなさい
あ……
……あぁ

まぁヒトオスが
短時間にこれだけ
射精したら無理もないか
でも精液サーバーの
素質はあるようだし
あら本当に
死んだのかしら
蘇させてあげる
目が覚めたら
迎えにくるわ
それまでは
休ませてあげる
end

-奥付-

『サキュバスのペットになる!?』

サークル名(著者)
ネプカ

連絡先
nepuka.nepuka@gmail.com

発行日
2024年06月21日

無断転載・アップロード禁止